

つみたてNISA Meetup in 東京

平成29年10月20日
金融庁 会議室

#つみっふ





メモ

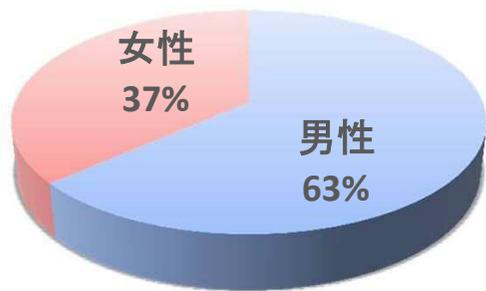


つみたてNISAフェスティバル2017

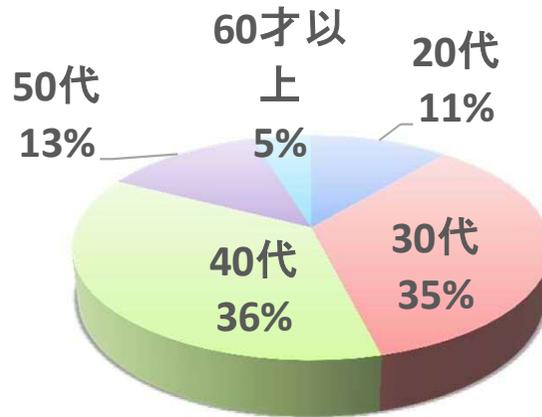
アンケート結果

つみたてNISAフェスティバル2017 アンケート結果

性別



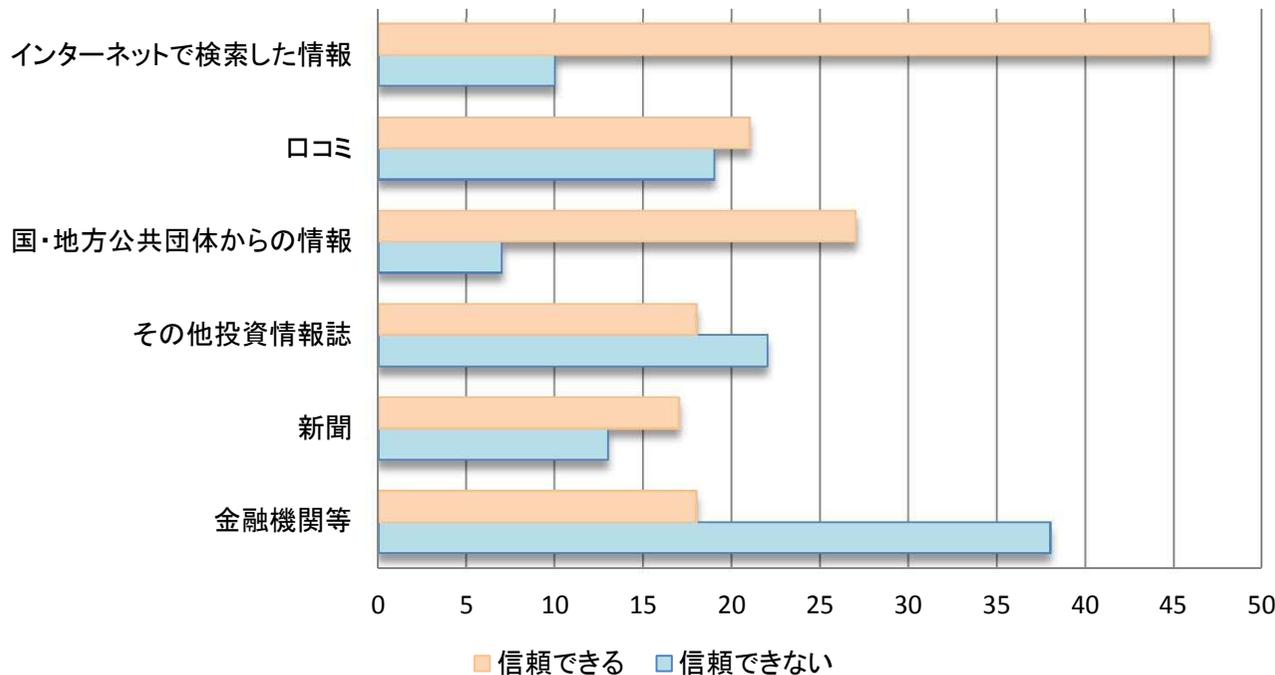
年代



投資経験



資産形成を行う際、信頼出来る情報、信頼出来ない情報（複数回答可）



その他参考とする情報

- ・書籍（16）
- ・ブログ、SNS（12）
- ・独立系FPへの相談（2）
- ・経済系番組（1）
- ・セミナー・交流会（2）

参加者からの主なコメント①

■ イベント全体について

- 金融庁のイベントということで、安心感もあり、参加しやすかったです。
- 国民（個人投資家）と行政官庁が直接触れ合う機会は、極めて少ないので、是非継続的に開催していただきたい。
- とても楽しく有意義なセミナーでした。遠方から参加した甲斐がありました。
- 後半になるに従い、初心者向けではなくなっていた。制度の説明など初心者向けのところに時間配分を多くとっていただきたかった。

■ 「つみたてNISA」の制度説明について

- 金融庁の考え方、狙いがわかる良い内容だった。教材に関しても初の取り組みとのことだが、記載に関してはシンプルでわかりやすく好印象を受けた。
- 時間が短すぎて話が早かった。初心者には優しくない説明になってしまっていた。

■ 「NISA、iDeCoの活用法」について

- 既に運用している方の活用方法だったので、わかりやすかった。また、専門家の指摘も的確でとてもよかった。
- FPさんたちのコメントがやたら厳しく、聞いててあまり楽しくなかった。

参加者からの主なコメント②

■「個人投資家からの税制改正要望ベスト5」について

- このコーナー自体、画期的な企画だったと思います。ここであがった要望は、長期投資を推進する上で、かなり切実なものも含まれています。早期に実現して欲しいです。
- 参加者も一緒に盛り上がる事ができたプログラムだったと思います。

■「パネルディスカッション」について

- 本会のメインイベントとも言える内容で、率直に面白かったです。内容は少々、玄人向けのようにも感じました。
- 「つみたてNISAとは、金融庁が用意した投資教材である」というパネリストの発言に衝撃を受けた。
- 「大切なのは、①続けること、②続けること、③続けること」、とにかく市場に居続けるというパネリストのフレーズが心に響きました。

■今後のイベント開催について

- 地方からもアクセスできるよう、ライブ配信／ストリーミング配信してほしい。
- 金融庁のイベントなので、専門家より、金融庁の職員の方がメインになってほしいと思う。
- 金融庁、FP、ブロガーの方々の協力で、是非「第2回」の開催をお願いいたします。
- 初心者向けのイベントなのか、投資経験のある人向けのイベントなのか、別々に開催したほうが有意義なのでは。

「職場つみたてNISA」

NISA推進・連絡協議会のガイドライン

3. 定義

(2) 職場積立NISA

職場において、福利厚生目的のために、役職員等が給与及び賞与等からの天引きにより定時定額で又は賞与からの天引きにより臨時に拠出した資金等をもって、NISA取扱業者が選定した金融商品（以下「職場積立NISA対象商品」という。）に投資する仕組みをいう。

現状と課題

➤ 導入企業数(平成29年6月末時点)

6,002社(延べ数)、1社当たりの積立金額は約3.7万円(月間ベース)

➤ 普及が進まない要因

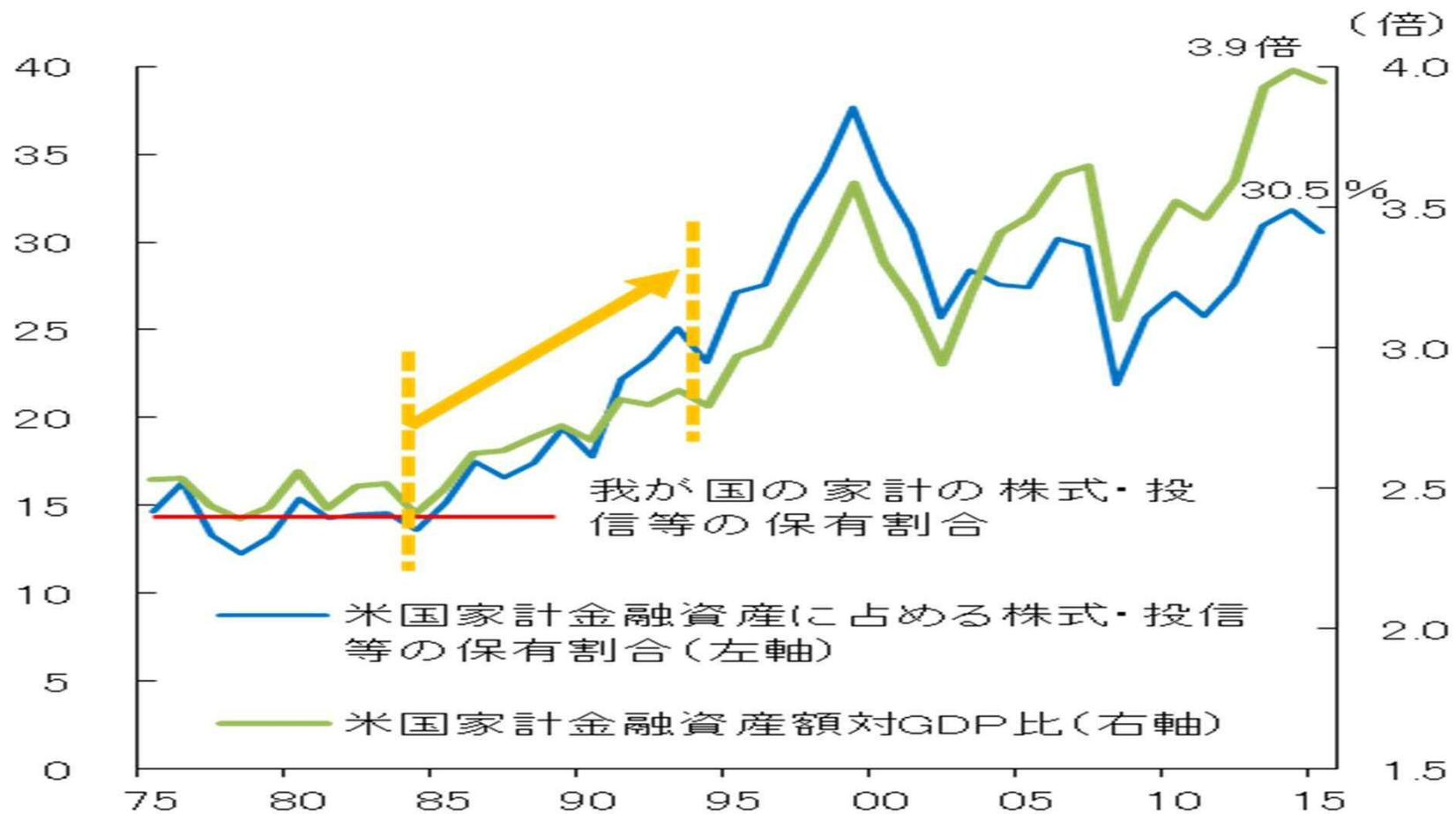
- ✓ 企業側の事務負担
- ✓ 導入のメリットが少ない
- ✓ 多くの企業が従業員の資産形成に消極的

「損失が出ても会社として責任は持てない。」

「業務の妨げにならないのであれば、勝手に営業をしてくれ」

「投資がしたいのであれば、自分で金融機関に行けばいい」

米国における政策の効果



「職場つみたてNISA」の導入について

- 少子高齢化の進展等を踏まえ、バランスの取れたポートフォリオによる安定的な資産形成の重要性が高まっている。
- 他方、現役世代にとっては、「きっかけがない」、「方法がわからない」、「時間が無い」等の理由から、投資を通じて資産形成に取り組むことは容易ではない。

- ✓ つみたてNISAは、少額からの長期・積立・分散投資に特化し、投資未経験者などが資産形成を始めるのに適している制度。
- ✓ 身近な場(職場)で、つみたてNISAを開始するきっかけが得られる環境を整えることにより、現役世代も資産形成に取り組みやすくなる。
- ✓ 併せて、つみたてNISAをきっかけに、職場において金融・投資教育を受けられることは有益。

まずは**金融庁**において、「**職場つみたてNISA**」を導入(他省庁・地方自治体、更には民間企業における普及も視野)。来年1月のつみたてNISA開始に併せて、職員による買付けを可能とする。

※ 併せて、同様に長期・積立投資に適したiDeCoも提供。

「職場つみたてNISA」の概要

1. つみたてNISAとiDeCoの情報提供 ⇒資産形成に関する多様なニーズに対応
2. 金融・投資教育を実施可能な金融機関を募集 ⇒職場を通じ、金融・投資教育を展開
3. 口座振替方式の採用 ⇒転勤時などの職員の利便性に配慮
4. つみたてNISA(定額積立による投資信託の購入)が、法令・内規に抵触しない旨を改めて周知
⇒適正な投資について、無用の懸念を払拭

